

市会
農根の
さくら
農根の
県坂
栃木
蒲須

美しい景観 次代に 地域挙げ排水路泥上げ

【栃木・しおのや】さくら市蒲須坂地区の「蒲須坂農根の会」はこのほど、約30年放置されていた排水路の泥上げ作業を行った。会員27人が参加。スコップやパワーショベルを使い、枯れ草や土で埋まっていた全長約150㍎の排水路をきれいに掘った。同会は、田んぼ周りの



きれいな環境づくりを目指し排水路の泥上げを行う会員

水路整備や施設の荒廃防止などの施設保全活動、さまざまな花や魚類が生息した昔の環境をよみがえらせる生態系保存活動に積極的に取り組む。会員は住民85人。会長の大久保睦さん(67)を含め、約半数が農家では

ないが、「地元を荒廃させないため、地域ぐるみで協力し、きれいな環境を次代につなごう」と、2015年から活動する。施設保全では、役員が見回って気付いた場所を補修する。毎年2、3本の排水路の泥上げもする。今回も排水路の泥上げを行い、掘り上げた土が雨で流れないように、パワーショベルで押し固めた。崩れて穴が空いていた水路6カ所に、砂利を敷き詰める補修も行った。大久保会長は「農家の高齢化が進み、後継者がいない中で、個人で整備するのは大変。みんなできれいな環境を守っていききたい」と話した。生態系保存活動は、地区内で唯一、壁をコンクリートで固めていない土水路で行う。外来種の駆

除やフナノ放流、花の苗植えをする。活動は、第10回県元気な農業コンクール「いきいき農村部門」の農村活性化の部で優良賞を受賞するなど評価されている。

大久保会長は「子どもらには、環境を守るということを教える教育の一端で一緒に取り組んでいく。昔の豊かな環境を取り戻し、地域で守っていききたい」と意気込む。